地域の手で育まれた土が、光を生む。日本最大規模の「ボタニカルライト」がラベンダーパーク多可に誕生。

住民が守り続けた庭園を、次の地域価値へ。
12月4日（金）、植物発電による夜の観光事業を開始

株式会社多可町地域商社RAKU（兵庫県多可町）は、ラベンダーパーク多可に、植物と土壌中の微生物の働きを利用する照明「ボタニカルライト」**50本**を導入。**2026年12月4日（金）**から毎週金・土曜日、夜間の新たな観光事業を開始します。植物発電を活用し、地域の人々が守り育ててきた庭園を新たな観光資源へと育てる取り組みです。

01｜地域の課題

花の季節・昼間に偏る来園を、夜へ広げる

約2万株のラベンダーが広がる同園は、開花期や日中に来園動機が集中しやすい一方、植栽や施設の維持には通年の労力と費用が必要です。夕暮れから夜の景観を新たな来園理由とし、利用機会を広げて継続的な施設運営につなげます。

02｜地域商社の役割

夜の散策を、地域での消費につなげる

夜の庭園散策と名物「卵かけご飯の食べ放題」などの飲食体験を組み合わせます。さらに地元の特産品・加工品や周辺事業者の利用につなげ、施設の集客を地域の仕事と収益へ循環させる仕組みを目指します。

03｜この土地ならではの意味

地域の人々が育てた土に、新しい役割を

園内は、開園前から住民やボランティアの手で整備され、植栽の管理を重ねて守られてきました。その土壌中の生命活動を使って小さな光が生まれる。人々の営みを新たな観光価値に変え、地域へ還元していくことが、事業の核心です。

04｜植物発電と夜の景観

足元に灯る「地上の星座」

グリーンディスプレイが開発するボタニカルライトは、土壌中の微生物が生み出す電子を電極で取り出し、微弱な電力を照明に利用する技術です。庭園では球体の光が特徴的なボールスタンド50本を配置。暗闇を生かした淡い光で、山並みや夜空とつながる景観を目指します。

05｜将来構想

観光から、学び・防災の拠点へ

将来は植物発電を入口とする環境学習の場、さらには防災・給電機能を備えた地域拠点への発展を構想しています。現時点で災害用電源の提供が実現しているものではありません。

INFORMATION

開催概要

開始 2026年12月4日（金）
営業 毎週金・土曜 19:00〜21:15
入園料 大人500円／小学生以下無料
食事 卵かけご飯食べ放題 1,580円
場所 兵庫県多可郡多可町加美区轟799-127
施工 株式会社グリーンディスプレイ

※「日本最大規模」は、ボタニカルライトの開発・施工を手がける株式会社グリーンディスプレイの施工実績を根拠とします。※夜間メニューには特別トッピング（播州百日どり・ローストビーフ）を予定。

取材・写真提供・事業内容のお問い合わせ

株式会社多可町地域商社RAKU
TEL **0795-37-0699**　FAX 0795-21-9053
https://raku-taka.com/contact/

施設情報・来園案内

ラベンダーパーク多可
TEL 0795-36-1616
https://www.lavender-park.jp/


西日本最大級
むらさきの風香る丘
ラベンダーパーク
多可





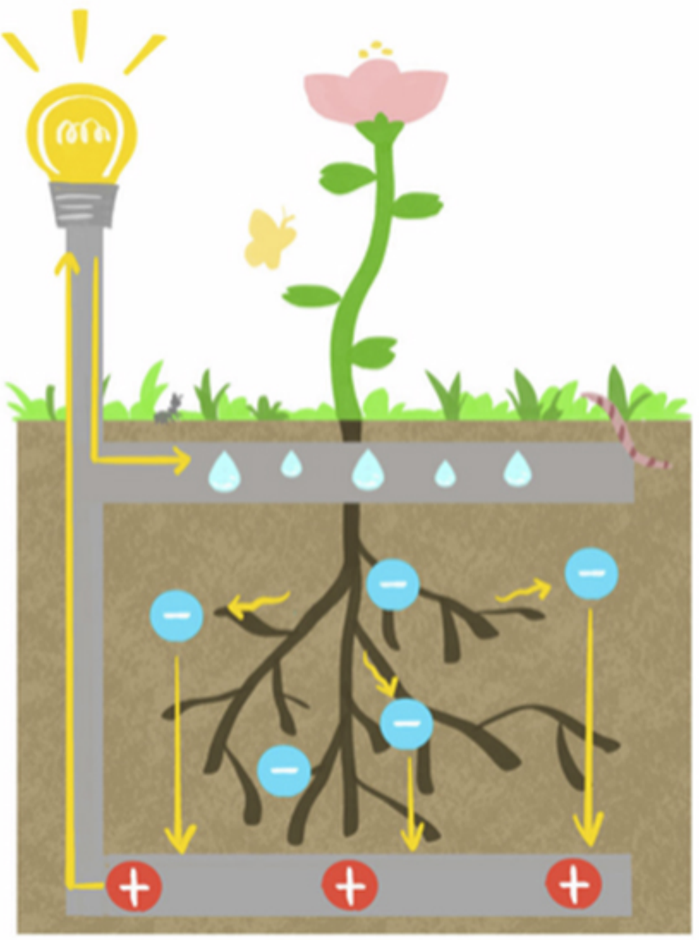


botanical lightとは

植物の働きや、土の中に存在する微生物など、自然の中で営まれる生命活動から生まれるエネルギーを利用しています。

このエネルギーは、イルミネーションとして空間を彩るだけでなく、センシング技術や災害時の活用なども期待されており、自然と人との新たな関係性を生み出す可能性を秘めています。

現在、単三電池約2本分の発電が可能です。



©green-display












たまごに
かけろ
お好み